



技術士だより

—(社)日本技術士会九州支部・九州地方技術士センター春季号<第31号>(平成9年3月15日発行)

◇巻頭言

第24回技術士全国大会の成功をめざして

原井 東男 (理事・大分・建設)

年も改まり早3ヶ月が過ぎようとしており、春の陽気が漂う季節となって参りました。会員各位には、ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、本年は、ご案内の通り、10年で1巡する技術士全国大会を九州支部主催で開催することとなっております。

昨年10月15日横浜で開催された第23回全国大会に於て、九州支部は「飛翔21」=新世紀の地域づくり/アジアへのかけはし=の大会テーマを掲げ、23名が参加して、全国の技術士へ九州大会への参加を呼びかけたところであります。

一方、支部においては、それぞれの担当委員会も決まり、具体的始動の段階まで進んで来ました。斯様な大行事は、成功して当たり前、ミスをすれば非難を受けるは必定であります。

これからは、各部署を担当する方は、立場の自覚と縦横の連携をより密にし、協調を踏り乍ら準備を進めることができますよう肝要であろうと思います。

蛇足の意見を述べましたが、第15回大会の実行委員長を務めた経験からの老婆心であります。

会員各位におかれても、他山の火事と思わず、支部の活性化に繋がる一大イベントと考え積極的参加を戴きますよう切望致します。

大会の成功を祈り乍ら巻頭言と致します。

† 私の提言

支部・センターの政策に関する意見

完戸 寄鳥 (九州支部幹事・福岡・農業)

残念ながら目の醒めるような支部・センターの政策は思いつきません。ただ事業の在りようについて考えることはありますので、2、3述べてみます。

I. 会員増強について

センターの飛躍には、会員増加が重大要件であるのはいうまでもありません。毎年の新規会員格者や未入会者への働き掛けの積極化は当然のことだと思います。

しかし、本来「技術士」は個人に認められた、独立した資格で、支部・センターへの参加の判断も、結局は本人個々のものです。それで、帰属組織や縁故をたどる、あるいは同志意識に訴えるだけでは、たとえいくら勧誘の言葉を飾っても会員増強には限界があると考えます。

むしろ、「技術士」自らが加入したいと思う組織にすること。会員増強よりも前に「技術士」にとって魅力ある支部・センターであることが先なのではないでしょうか。会員増加は結果で

(次ページにつづく)

1人でも多くの入会をお勧め下さい

(私の提言 つづき)

あって、個々の人格である「技術士」それが加入して役に立つと思う組織であれば、会員は自然に増えると考えます。

II. 魅力ある組織への脱皮

これが活性化、飛躍のための最も重要な課題で、これを政策の基本となすべきでしょう。そこで問題は、「技術士」自らが加入したいと思う組織にするには何をするか。それにはつきの①自己研修の場提供と、②CE業務協力の2点に集約しました。必要な機構はこれに沿って整えればよいと思います。

①より広い技術的見解と知識を得られる自己研修の提供、組織化

資格獲得が最終目的で技術士にならすべて終わりという人は別として、「技術士」は常に新知識の習得、技能の向上を求めて止まない筈です。とくに現在は今までの常識が覆ることの連続ともいえる激変の時代です。「技術士」として目を向けねばならない新しい問題が山積しています。しかもこの対応には一部門ではことすまない部門際的広さが要求されます。

そこでこれに応える「技術士」個人個人の能力向上を目的とする場が提供されれば、誰でも注目し、参加を考えると思います。当然それに足る内容であることが必要ですが・・この意味で昨年9月の第1回科学セミナーは極めて充実した内容でした。こうした事業を年間2~3回のスケジュールで実施し一つの柱としたらどうでしょうか。これは有料が基本。有料に相応しい年間企画をたてて実施する。公開講座としてもよいと思います。いまの能力育成講座は「技術士」になりたい人対象の講座ですが、これは「技術士」本人の能力育成講座という考え方です。みんなが惚れ込むインパクトをもつ事業に展開できればよいと思います。

②コンサルト業務の協力態勢の組織化

いまも個々の技術士相互間の業務提携、協力援助は行われていますが、さらに広範囲で、しかも新しい課題を含む時代の要請に対応するために、組織としてコンサルト業務活動の支援、斡旋の窓口となる態勢を固めたら如何でしょうか。

例えば「CE業務対応委員会」といった機構で、組織内外からのコンサルト需要に対して積極的に「会員の技術士」を紹介斡旋する。もちろんその技術士の技術料所得をはっきりする。また斡旋料をとるのもよいでしょう。ともかく「会員になれば実入りのある仕事がやれる」という会員のメリット確保の態勢に持っていくことが大切だと思います。

III. 財務基盤の確立について

原則は、一般管理費（事務費、会議費、本部事業費）は会費、入会金、本部交付金で賄えるようにすること。事業費はそれぞれの事業ごとに採算の採れる収支にすることだと思います。

このためにも会員増強が絶対要件となるわけで、会員数がそれに及ばない段階では、事業費の余剰で組織全体の収支を探るのも止むを得ないことだと思います。しかし、この場合も、資金の不足は各事業の余剰金で分散負担するのが健全で、この余剰を能力育成講座だけに集中させ、利潤追求型事業ともいえる姿にしている現状は一考の余地あり。受講料の高騰、必要経費の規制、削減、その他、無理が通っているのではないかと危惧します。

この点からも、前Ⅱ項の2事業は余剰を分散して産み出す役割をもたせること。また名簿発行にしても、半額会員負担の申込み制、あるいは2年1回、中の年は新規、変更分だけにするとか、負担分を減額する工夫も必要と考えます。この点「技術士だより」「部会費」は現状の体制でやむをえないと思います。

ともかく支部、センターの組織は営利企業ではないのですから、大きな利潤をあげる必要は
(次ページにつづく)

(私の提言 つづき)

ありません。そこそこに事業が進められれば十分で、毎年度の次期繰越金が総資金規模の1割程度というのもまずまずでしょう。

ただ、財務処理の仕組みは、事業費はその事業ごとに特別会計として別に収支をまとめられたらどうでしょうか。これはその事業担当委員会の業務とし、事業ごとにそれぞれ対照表をだし、その余剰、不足が組織全体の収支にどう繋がっているかを把握できればよいと思います。それには予算の段階から事業ごとの収支見込みをはっきりさせて、組織全体の予算を組むことが必要でしょう。

また事業経費については、会員のボランティアをなくし、必要経費として計上すること。さらに財務問題については、事務局長の意向を重視し、負担増しは避けることを、最後に付け加えます。
以上

日本技術士会近況

原井 東男（理事・大分・建設）

平成8年度第1回（8・5・15）理事会及び第2回（8・7・17）理事会については、平成8年12月15日発刊の「技術士だより」30号に掲載しましたので割愛させて戴き、以降第3回・第4回・第5回理事会について報告します。

◎平成8年度第3回理事会報告
日時 平成8年9月25日

◇審議事項

①広報・報酬・中小企業対策調査委員会・海外業務促進委員会・業務斡旋委員会各委員の追加・交代の承認について。
②渉外業務の引き継ぎと活動の方向性について。

（第1回理事会の意を受け、政策委員会で審議した結果の報告があった。内容は、
イ. 渉外委員会の名称は残さない。ロ. 現定款や細則の範囲内での検討に止める。
ハ. 技術士会の改革についての検討は、問題点・改善事項整理のうえ渉外活動のあり方とは切離して政策委員会で継続審議する。ニ. PE/CE問題及びRCCM問題は本会と関連する重大事項であるので、細則第7章の調査委員会の項に従い資格問題調査委員会を新たに設置する。）

◇報告事項（主たる事項）

- ①平成8年度二次試験受験者数について
- ②岐阜にて開催の合同セミナーの結果報告
- ③環境カウンセラー制度について説明
- ④災害対策委員会（仮称）設立準備委員会の報告

／⑤事業委員長より支部長会要望の補助金UP問題は現在検討中との報告があった

◎平成8年度第4回理事会報告
日時 平成8年11月20日

◇審議事項

①支部交付金の増額について

（予てより支部長会から事務所経費・人件費等管理経費に事欠く現状であるので返還金の増額要望が出されていた、事業・財務委員会で検討した結果現行の支部会員会費の1/3(8,000円)に加え準会員会費の1/3(3,200円)を返還したいとの報告があり、全員了承した。）

②役員選挙制度の改正について

（平成7年度に改正され、唯1回だけ適用されたばかりであったが不具合点が指摘されたので早急に改正すべき事項（2件）に限定し改正する旨の提案理由説明があった。）

改正内容の1つは、候補者の推薦手続きにおける支部長・部会長の責任を明確化する。（細則第36条関連）

改正内容の2つは、文章による選挙運動の禁止事項の削除である。

（併せて選挙管理規定も関連する条項のみ改正する。）

◇報告事項（主たる事項）

①平成8年度第二次試験筆記試験合格者数について
（次ページにつづく）

(本部近況 つづき)
②平成8年度第一次試験受験者数について
③創立45周年記念・第23回技術士全国大会開催結果について
④常設委員会報告について
政策委員長—技術士会の英文名については
支部長会・部長会の意見を聞いたうえ決定したい
災害対策委員会の設立については引き続き検討中
事業委員長—平成9年度事業計画を検討中
広報委員長—月刊技術士に掲載希望の原稿提出は、投稿の手引きに従い2ヶ月前までとする。
業務委員長—インターネットを通じて情報提供することを検討中

◎平成8年度第5回理事会報告
日時 平成9年1月22日
当日、大分地区は大雪のため交通機関がすべてストップしたため止もう得ず欠席したので会議内容については具体的に記述出来ないことをご了承ください。会議次第については次の通り

◇審議事項
①平成9年度事業計画(案)・収支決算(案)
(平成9年3月19日開催の臨時総会資料) /

/ ②平成9年度役員選挙の日程について
立候補届出期限 3月31日まで
投票用紙配布 5月19日まで
投票締切日 6月13日12時まで
開票日時 6月13日13時より
次期役員会議 6月23日

◇報告事項

- ①平成8年度第一次試験合格者について
②常設委員会報告

(結語)

平成8年度第6回理事会(平成9年3月19日11:00~)を最後に、私は理事を退任し新理事へ引き継ぐこととなります。

平成8年度1ヶ月間の理事会情況を報告しましたが、理事会が今、何を考え、何に取り組んでいるか大体判ったことと思います。

然し乍ら、今一つ判然としないことにも気付かれた事でしょう。

東京の理論・数の論理・組織の理論が改善されない限り、適わぬ願いと思慮致して居ります。

2期4年間、私にお寄せ戴いたご好意に対し衷心より感謝申し上げますと共に、支部の益々の発展を期待し乍ら報告を終わります。

以上

技術士会九州支部・九州地方技術士センター 行事・会合などの報告

◎第2回 常任幹事会

重富秀雄(総務委員長)

開催日時 平成9年1月18日 13:00~
開催場所 博多第一ホテル

◇議事要旨

原井理事並びに水上支部長から、本部理事会並びに支部長会議の概要について説明があり(説明内容については、“技術士だより”に掲載済)、引き続き議題の審議に入った。

①会員増強については、政策委員会で8年度末までに検討し提案する。それを踏まえて今後の方針を決める。

②育成委員会事業報告

平成8年度の運営状況について説明があり、久保田委員長の要望事項について、審議したが、結論が出ず2月1日に本件のみを重点審議する“臨時役員会”を開くこととした。

③第24回全国大会の準備実行委員会を正式に実行委員会として発足させ、2月15日に第1回実行委員会を開くこととした。

④平成8年度決算見通しは、なんとか黒字で決算が出来る見通しである。

⑤平成9年度事業計画(案)を各常設委員会、地区、部会の責任者から3月末までに提出する様要請した。

(次ページにつづく)

(支部・センター行事報告 つづき)
⑥役員改選(支部長)は平成9年度実施する。又、本部理事も平成9年度改選期である。

平成8年度第2回
第三部会技術研修会
第三部会長(化学) 北原徳雄

平成9年2月22日(土)14:00~17:00博多第一ホテルで経営工学の方を含む5名の参加を得て開催した。研修に先だって第三部会長北原徳雄の任期満了に伴い次期会長の互選を行った結果、本田整氏(金属)に引継いで頂くことが決定した。次に研修については、本日「ステンレス鋼の腐食」を中西敏雄氏(金属)に講演して頂く予定であったが講師の御都合により中止となった。

◇講師 北原徳雄(化学)

◇演題 ゴムと金属との接着

ゴムと金属との接着技術、接着剤は自動車のエンジンマウント、ボディマウント等の防振ゴム、ソリッドタイヤ、ゴムブッシュ、ゴムローラー、耐油、耐薬品タンクのゴムライニング等多くの機能性を要する製品、部品に利用されている。一般に極性、結晶性の低いゴムと逆に極めて高い金属との接着は難しい

⑦全国大会の運営準備の一環として“火山災害セミナー(仮称)”を4月24日(木)電気ビルで開催すべく準備中である旨、帆足委員長より報告があった。

技術とされている。さらに天然、合成ゴムの中で最も困難とされている低不飽和ゴム(ブチルゴム、EPDM)と金属との接着剤の開発を過去、産学協同で行い事業化した。接着剤はCl化、あるいはCl-Br化したEPDM溶液をベースとし、これに配合剤を分散したものである。報告事項は次の如し。

1. ゴム/金属接着理論の概要と技術動向
2. EPDM溶液のハロゲン化反応
3. 被着体ゴムの配合、加硫條件、物性および金属組成
4. 接着剤ハロゲン化物組成と接着効果
5. 配合剤と接着効果
6. 試作品の各種ゴム、各種金属の組合せに対する接着効果

最近の動向としては、接着剤なしで接着させる直接法の研究例が多い。例えば金属表面をPd-P合金に、あるいはトリアジンチオール処理を行って接着性を賦与する等。またゴムに接着性物質のコバルト塩を分散する等がある。将来加工の手間が大幅に省ける接着法が開発されるのは喜ばしいことである。以上

平成9年度 九州支部、中・四国支部 合同研修会の御案内

◇日時 平成9年7月11日(金)~12日(土)

◇場所 因島シーサイドホテル
〒722-23 広島県因島市土生町
(TEL 08452-2-2525)

※宿泊希望者は当宿泊施設に予約します。

◇会費(予定) 研修会(見学会) 10,000円
交流会 4,000円
ホテル代 12,000円
(朝食付き、洋室1~2人)

◇参加人員 約50名

◇研修会(見学会) 7月11日 13:00~16:30
7月12日 8:40~16:30

・西瀬戸内自動車道並びに各島の観光地と橋の見学。
・観光地では毛利水軍の因島水軍城、橋で

は多々羅大橋(世界最大斜長橋・完成平成10年度末)で見学時はクラウン接合直前の現場を見学。

◇講演会 7月11日 16:30~17:30
「西瀬戸自動車道 多々羅大橋架橋について」

本四公団第三建設局計画課長 毛利徳成氏

◇交流会 7月11日 18:00~20:00

◇申込先 (社)日本技術士会九州支部事務局
TEL 092-771-9534
FAX 092-731-8274

◇申込期限 平成9年6月末日
(次ページにつづく)

(支部・センター行事報告つづき)

◇研修会(見学会)スケジュール◇

7月11日(金) 13:00 山陽新幹線 新尾道駅 集合 13:10 新尾道駅 出発(貸切りバス) →
向島PAから(尾道大橋) → (因島大橋) → 因島観光「因島フラワーセンター」
・「水軍城」

7月12日(土) 8:40 ホテル 出発 → (生口島) → 生口島観光「耕三寺」 → (垂水港
からフェリーで) 大三島井口港へ → 多々羅大橋現地 → 昼食 → 大三島
観光「大山 神社」国宝館、(鎧、兜など) ・楠(巨木) → (大三島・盛港か
らフェリーで) 本州忠海港へ→三原駅 16:30 解散

◊ 会員名簿編集こぼれ話 ◊

町田 貞徳(研修委員長・福岡・電気・電子)

平成4年度以来の会員名簿の編集を担当させて頂いている。ことのきっかけは、平成2年度の会員名簿が支部会員とセンター会員を別々に集めて配置され、支部会員がダブル配置となり、名簿が使いにくく不評であった為である。

筆者は以前から事務局の事務量を減らす為に、会員全員の封書の宛名ラベルを作成していたので、会員名簿の編集もその延長線と考えたのである。然し、会員名簿となると本格的なデータ処理が必要な為、新たにデータ処理用ソフト(桐)を買い求めソフトの勉強から始めた。そして、会員名簿に記載されている会員一人ひとりのデータをコンピュータに打ち込み始めたが、仕事の合間に利用しての作業である為に案外と時間がかかり、当時の会員全員を収録するのに1年半を要した。

さて、第1回目の名簿原稿(平成4年版)を6種類ほど作り、支部センター役員他出来るだけ多くの方に見せ御意見を聞き、各人毎のデータを打ち出して“技術士だより”的発送に便乗して各人のデータ確認を依頼したが殆ど返事は帰って来ず、会員皆さんの関心の薄さをひしひしと感じた次第である。とにもかくにも、平成4年版をコンピュータによるデータ編集の形で発行できたのは大きな喜びであった。

さて、平成5年版になると名簿記載事項に関する会員の若干の関心が現れ始め、名簿作成前の原稿照合にも相当の返事が帰ってくるようになり、又内容についても『以前よりも見やすくなった』との評価を戴けるようになった。と同時に、記載内容についての注文が増え始め、内容の変更・訂正・間違い修正等も厳しく要求が来るようになった。

一方『適当に編集してくれ』と言われる方也有ったが、こういう人に限り名簿が出来上がってから、表現違うと御叱りがくるのがままあった。

平成6年版では、『プリンターの活字が古く名簿に似つかわしく無い』との声があり、当時としては最高級クラスのプリンター(カラーバブルジェット方式・定価398千円)を自費購入しその声に応えた。

現在は、コンピューター本体も高級クラスであろう装置を購入し、ソフトも最新版を揃え、会員皆様からのいろいろな要望に答えるべく努力している。

さて、以下名簿編集に当たり、皆様から頂いた御意見・要望に対する回答、及び編集する側からの御願い等に就いて述べたい。

1. 名簿原稿を毎年6月頃各会員に送りますので、訂正等があれば訂正箇所がはっきり判かるよう修正して、ご連絡を願いたい。意外に会員の移動・内容変更等が激しく、沢山の資料が來るので、変更事項を明確に表示されていると助かる。

(次ページにつづく)

(支部・センター行事報告 つづき)

2. 事務所にコンピューターを購入してやると言う話をされる人がおられ、有り難いとは思うが、問題はデータを打ち込み且つ、製本出来る資料として纏めうる人材で有る。
平成8年度版では年間2000件程度の記載内容変更の連絡を受けた。この打ち込み作業には普段日に相当の日時が必要である。
又、製本する為には、名人の原稿調整、企業別索引作成、全体の配置調整、並びに正本名簿作成作業等、相当な日時を要するし、相当の専門知識が必要である。
走り書きの原稿を印刷業者に渡して製本させる（この方法でも名簿は出来るが費用が全然異なる）のとは異なり、纏めた原稿がそのまま本となって出版されるのである。然し、それらをカバー出来るオペレーターを雇うだけの資力は支部・センターには無い。
3. 名簿の記載内容にご本人が希望していない事項が出ていると、と言うことで、原本調査を指示されたことがあったが、前記通り、2000件の中から原本を捜し出すことは、大変なことで、期待に沿うことが出来なかった。何れにしても、ご本人しか知らない内容はご本人が出さないと原稿にはならない。

以上会員名簿編集の裏話をさせて頂いたが、今一つ、気にも留められて居ない事項で、且つ大事な作業として、郵便封筒用宛名ラベル変更作業がある。前述のとおり、会員の住居変更が多く、何時も住所訂正をしておかないと郵便物が帰ってくるのである。1年間ほったらかして置くと言う訳にはいかない。会員名簿作成の隠れた大仕事である。

以上

平成8年度技術士第一次試験合格者	
平成8年12月21日	
機 械 石井輝久	建 設 坂梨和彦
電気電子 田原幸晴	" 小永吉秀男
化 学 堀地昌志	" 山田公児
金 属 村松 耕	水 道 橋野芳治
" 小林一三	" 金谷 淳
建 設 飯尾昌和	" 福島眞一
" 遠藤俊宏	" 甲斐 猛
" 吉本治彦	" 高見 徹
" 田邊秀明	" 今西正樹
" 帆足 渉	" 後藤 崇
" 後藤 勇	" 安東武智
" 塚本靖彦	衛生工学 筧島秀利
" 三浦秀貴	" 篠原文毅
" 菊池好和	" 吉田 孝
" 外山 泉	" 酒見和幸
" 宇野昭弘	" 高津 淳
" 古屋有美子	" 作野順哉
" 船原拓也	" 友池昌寛
" 松本昌則	" 大野雅明
" 高尾泰則	" 野代谷武 /

/衛生工学	池田知繁	応用理学	川嶋睦義
" 友納 慶	"	"	鬼木一也
林 業 津田隆信	"	"	松尾茂樹
情報工学 宮崎昭彦	"	"	茂呂直美
応用理学 小野尚哉	"	"	田中武徳
" 石井岳男	"	"	田中善孝
" 緒方康浩	"	"	兼国晋輔
" 酒井正文	"	"	中尾京子
" 金指 勝 生物工学	"	"	鷺尾正博
" 西田知浩	"	"	陶山明子
" 小串芳美 環 境	"	"	嶋田万久
福岡会場合格者数 62名			

前年度との比較

	平成8年度	前年度
受験申込者数	7,252名	6,229名
受験者数	4,712名	4,087名
合格者数	692名	678名
申込者数に対する合格率	9.5%	10.9%
受験者数に対する合格率	14.7%	16.6%

(支部センター行事報告 つづき)

平成8年度技術士第二次試験合格者

平成9年2月7日発表

機 械	機 械	本 田 圭 助	建 設	清 水 定 光	/ 建 設	古 関 政 秀	建 設	石 原 俊 郎
"	"	沼 尻 健 次	"	辻 治 生	"	吉 岡 晴 之	"	宮 副 一 之
"	"	大 槻 繁	"	清 水 洋 二	"	松 石 忠 俊	"	江 中 正 宏
電 気 電 子	電 気 電 子	平 山 賢 治	"	常 松 修 一	"	青 江 淳	"	千 々 岩 敏 強
"	"	園 田 敏 勝	"	谷 口 正 博	"	西 脇 弘	"	中 垣 光 弘
"	"	蟹 江 和 彦	"	眞 崎 洋 三	"	鶴 田 芳 昭	"	高 木 勇
化 学	化 学	小 柳 聰 雄	"	宮 内 浩 典	"	久 間 俊 明	"	栗 藤 賴 敏
"	"	阿 部 隆 一	"	和 多 田 康 男	"	鶴 田 益 平	"	浜 田 裕 文
金 属	金 属	大 森 隆 之	"	高 山 和 典	"	中 濃 耕 司	"	橋 詰 順 一
建 設	建 設	岩 上 純 一	"	安 倍 邦 弘	"	瀬 口 宏 由 紀	"	力 丸 泰 英
"	"	坂 之 井 秀 輝	"	森 尾 有	"	和 田 信	"	中 島 良 一
"	"	筑 瀬 明 弘	"	山 田 龍 雄	"	奥 武 之	"	塩 満 利 昭
"	"	篠 原 覚 二	"	國 光 幸 雄	"	中 島 忍	"	杉 本 勝 義
"	"	渡 邊 輝 康	"	柳 野 良 明	"	武 田 悅 男	"	三 好 哲 也
"	"	三 浦 哲 彦	"	岡 部 礼 一	"	杉 本 正 二	"	多 久 正 太
"	"	渡 邊 文 利	"	梶 原 文 男	"	原 田 政 太	"	戸 次 真 一
"	"	住 田 賢 二	"	幡 東 孝 則	"	原 田 昌 宏	"	原 田 正 則
"	"	上 村 俊 英	"	山 崎 宏 敦	/	谷 雄 平	"	秋 月 敏 政

建 設	松 本 章	衛 生 工 学	大 西 正 人
"	"	藤 本 哲 明	"
"	"	入 江 康 雄	"
"	"	渡 辺 広 明	"
"	"	児 玉 伸 彦	"
"	"	景 山 辰 夫	"
"	服 部 誠 二 郎	農 業	山 下 和 博
"	"	皆 川 和 明	"
"	"	齋 藤 孝	"
"	"	川 口 芳 人	"
"	"	中 島 義 明	"
"	"	原 千 妙 子	"
水 道	北 野 正 直	"	田 ノ 上 春 雄
"	松 本 雄 介	"	山 口 孝 一
"	岩 田 浩 一	"	井 崎 孝 行
"	川 上 祥 史	"	楠 田 直 稔
"	當 間 久 夫	林 業	坂 梨 京 一
"	"	田 原 徳 生	"
"	"	飯 田 徹 男	"
衛 生 工 学	石 尾 賀 弥	"	森 一 夫

応 用 理 学	江 藤 賢 治	福 岡 会 場
"	林 健 次	合 格 者 数 122 名
"	豊 村 靖 彦	
"	吉 川 智 彦	
"	篠 田 良 明	
"	河 内 義 文	

前年度との比較

	平成8年度	前年度
受 験 申 込 者 数	26,167名	23,326名
筆 記 試 験 受 験 者 数	14,135名	13,401名
筆 記 試 験 合 格 者 数	2,304名	2,270名
口 頭 試 験 受 験 者 数	2,302名	2,268名
口 頭 試 験 合 格 者 数	2,118名	2,074名
受 験 申 込 者 に 対 す る 合 格 率	8.1%	8.9%
筆 記 試 験 受 験 者 に 対 す る 合 格 率	15.0%	15.5%

技術士センター

◇平成9年度技術士2次試験受験 総合研修講座

技術士センターでは標記について、下記の通り計画しています。

記

第1回講習会

日 時：平成9年4月19日 (土) 9:00～17:00

会 場：福岡商工会議所ビル

福岡市博多区博多駅前2丁目9-28 TEL(092)441-1111

講習内容：受験合格のための研修方法総合指導

経験問題論文テーマ選定と纏め方（個人別指導）

必須・専門両科目研修方法（部門・科目別指導）

前記添削：経験・必須・専門各科目答案添削

第2回講習会

日 時：平成9年6月14日 (土) 9:00～17:00

会 場：福岡商工会議所ビル

講習内容：第1回講習添削結果をもとに総合指導及び部門別指導

第1回講習添削結果をもとに個別指導

第3回講習会

日 時：平成9年6月21日 (土) 9:00～17:00

会 場：福岡商工会議所ビル

講習内容：模擬試験

試験場での筆記要領指導

模擬試験結果の採点・講評・今後の対策は後日郵送

第4回講習会

日 時：平成9年7月19日 (土) 9:00～17:00

会 場：福岡商工会議所ビル

講習内容：主要問題予想と直前対策

経験論文の仕上げ (個人別指導)

注：本講習会は、技術士国家試験の『指定執行期間』である日本技術士会とは別組織の「技術士センター」が実施しているもので、誤解のないようお願いします。

◇ 九州地方技術士センター人事

九州地方技術士センターの組織について、人事に一部変更がありましたのでお知らせします。

(新)

育成委員会 委員長代行 川崎 達一
同 副 光岡 豊

(旧)

(委員長 久保田 信一)

◇日米企業のはざまで

田中 積治（福岡 経営工学）

§ 1. 米国企業

学校を出てから廿年余り勤めていた会社が、業界の永年の構造不況で第一次石油ショックの頃にはどうにも立ち行かなくなり、私のいた工場も閉鎖の憂き目に合いました。 残務整理も終わり本社に戻って、さてどうしたものかと身の振り方を考えていた矢先、縁あって米国に本社のある多国籍企業の日本法人に職を得ました。 入社して驚いたことには技術・製造系の上司は全て外国人、日本の企業社会しか知らない私にとってはカルチャーショックの洗礼に戸惑うことばかりでしたが、時が経つにつれて少しづついろんなことが見えてきました。

①学歴社会

入社後研修を米国の工場で受けることになりました。 指導してくれたのは、現場のことと隅々まで知っている中年の技術者で、部下達の信望も結構あるようです。 丁度年度変わりで昇進者の名前が掲示板に貼り出されましたが、彼の名前は見当りません。 日頃から親しくしている若い技術者に何故彼が昇進に洩れたのかと尋ねると、こともなげに、

「彼は人望もあり仕事も出来る。 だけど、カレッジ出身だからな。」と言いました。 確かに、米国は実力社会であると同時にフェアプレーの社会です。 ボクシングやレスリングの体重別でもお分かりのように競争はあくまで同じレベルで争うのがフェアプレーの精神のようです。 地位別は当然ですが、学歴別でもカレッジ、ユニバーシティー、ポストグラジュエイト（大学院出身MAやMS）同士、それぞれのクラスの中で熾烈な実力競争が行われており、クラスが違えば競争の対象にはならないようです。 会社のトップを目指す者はMBA（経営学修士）の切符が無ければ競争にも加えてもらえません。

クラス内での競争に破れた者は去って行く、誰もがそれを当然のことと受けとめており、それがまた企業の活力にもなっている様子です。 私の元いた会社も学歴で昇進や昇給に差は有りましたが、和を重んずる日本の風土ではさほど大きなものではなかったような気がします。 尤も、日本で学歴格差（学校差と言った方が適切かもしれません）が歴然とあるのは、大蔵省や通産省等の中央官庁位でしょう。 自分のささやかな体験だけで、米国の企業社会を云々出来ませんが、この会社は米本国だけで8万余、世界中の関連企業を合わせると十数万名の従業員を抱え、しかもエクセントカンパニーとして経営学の教科書にも載る位ですから、あながち特異な例ではないと思います。

しかし、最近では本当に優秀な米国の学生達はベンチャー企業に人生を託しているようです。 血みどろの昇進合戦で心身を擦り減らしながら大会社の幹部の地位を狙うよりも、起業家として全力で自分の夢を追いかけ実現させる方が、どれほど人間的にもまともな生き方であると言うことを知っているからではないでしょうか。

②企業社会

設備や機械の操作を覚えるため製造現場にいると作業者達ともすっかり仲良しになります。 休憩時間は詰所で専ら昨夜のスポーツの結果、新車、女性の話等々に花が咲くのは日本と余り変わりません。 米国は多民族国家だから労働者の質は日本に比べて格段に劣るのではないかとしばしば耳にします。 確かに、マニュアル通りにしかやれない、応用動作が出来ない等の難点も多々あります。 しかし、デューティの観念は確りしていて良く働きます。 体力がある分、日本人以上かも知れません。 自動車でも電子材料でも、あれだけ隆盛を誇っていた日

本企業が何時の間にか米国企業の巻返しに合って悪戦苦闘しています。 大東亜戦争（第二次大戦）の緒戦での日本軍の勝利とその後の敗退に次ぐ敗退、帝国海軍の一員として参加した私は昔の悪夢を思いだし、慄然とするものを感じます。

第二次大戦で戦った日米の将兵を比較すると、下士官・兵では日本軍が圧倒的に優秀、初級士官では互角、上級士官では話にならない位米軍の方が優秀であったから日本軍は破れたのだと巷間でささやかれています。 クラス別の激しい競争を勝抜いてきた米国のトップ達は確かに優秀です。 国際間の企業戦争でも同じことが起こらなければと願っています。

これも日本人に良くある誤解の一つかも知れませんが、私も米国のビジネスマン達は定時に出社し、定時に帰り、仕事は一切家に持ち込まぬとばかり思っていました。 一般の社員達にはそんな人も沢山いるかも知れませんが、地位が上がれば上がる程仕事は厳しくなってゆきます。 部長クラス位になると、皆より1~1時間半位前に出社し、夜も10~11時頃までいる人も珍しくありません。 それでも4半期毎に仕事の成果が評価されて昇進や昇給に響くのでは堪りません。

部長が遅くまで仕事をしているから、たいした仕事もないのに課長や若い社員達までが付合い残業をするような日本の悪習は勿論皆無です。 特に最近では、海外と関係のある部門の責任者達の家には会社貸与の「コンピュータ」があり、時差におかまいなくEメールで打ち合わせが行われ、仕事を家に持ち帰らぬどころか仕事の中に家があるのではないかと錯覚に陥ります。

このような米国型猛烈社員の奥方達はさぞかし御不満が多いのではないかと思っていました。もちろん例外はあると思いますが、時折行われるパーティや、ハイキング等で上司の奥さんが一緒に参加でもしていると、自分の亭主が如何に有能で、日頃から会社の仕事をどれだけ大切に思っているかを臆面もなく売り込んでいるのを何回となく目にしました。 内助の功と言うより堂々と行う点、外助の功と言った方が良いのかも知れません。 付け届けをしたり、陰に回って他人の家の悪口を言うような陰湿さがないのがアメリカ式山ノ内一豊の妻の姿でした。

§ 2. 中小企業と外資系企業

前述のように米国の企業では、地位に従って仕事量が著しく増えますが、勿論それに見合った給与は支払はれます。 日本の外資系企業も原則的には親会社と同じ風土を持っているので、仕事量は地位か給与のどちらかに比例するはずですが、どうも仕事量が給与の2乗か3乗に比例しているような気がしてなりません。 14~5年も外資系企業で製造責任者をしていると、体力に自信があったはずの私も60才近くになると心身共にガタついて来ました。 たまたま、親会社直轄の在日の別企業で責任者を探している話を耳にしたので、仕事の内容を聞くと、米国始め世界各地にある同じ系統の多国籍企業から依頼を受けて、日本国内でこれ等の企業が必要とする部品や原料の調達先やOEM生産先の開発と、調達品の品質管理です。 それなら、今まで製造部門で行っていた仕事の一部ではないとか思い自ら出向を買ってきました。 もっとも、これ等の仕事は工場では部下にまかせて自分はサインだけしかしていましたが、クライアントに代り仕事をするのとでは大違いであることに気付いた時はもう手遅れでした。

①米国式業務診断

日常の業務は、調達先やOEM生産先の経営内容や技術力の程度を、米国の本社で定めた「マニュアル」によって調査・分析する仕事で、かつて米軍が調達に用いた「ミル・スタンダード」のチェックリストに良く似た形式のものを使用していました。 調達やOEM生産も対象物が多量であれば、株式一部上場の大企業でも喜んで引受けてくれますが、生産量が少ないと技術条件が面倒だとか、利潤がないとかでなかなか良い顔をしてくれません。 結局技術力のある中堅或いは中小企業に委託せざるを得なくなってしまいます。 米国式のマニュアルに従って経営状態を評価すると、大抵の中小企業はバランスシートの自己資本や借入金額の項で引っかかります。

自己資本が20%位では倒産の危険性があるのではないかとうるさく聞いてきます。技術の評価にしても、技術員の数やラボの設備等の形而下的な問題でクレームを付けて来るので、たいていの日本の中小企業は大手企業の下請けの経験があり技術移転が十分行われていることや、NC旋盤やマシニングセンター位は作業者でも図面を見ながらインプット出来るから心配するなど説明してもなかなか信用せず、担当者がわざわざ来日する始末です。私としては、日米では中小企業の形態も違うし、従業員の技術レベルも異なるので、米国式の評価法で測ることに多大の違和感を持っていましたが、品質管理を除いては反論しようにもするだけの理論武装が有りません。なんとかせねばと考えた末、行き着いたのが中小企業診断士試験の勉強です。なにしろ現実と言う先生が目の前にいるのですから私にとって幸いでした。免許を取得してからは、うるさいことを言って来る度に「日本のサーティファイド=ビジネス=コンサルタントの言うことが信用出来ぬのか」とやり返しているうち、だんだん仕事がやり易しくなってきました。

②ミニ日米貿易交渉

海外のクライアントの依頼で中小企業の方と交渉をしていると、時々複雑な気持ちになります。相手の経営状態は前以て調べた資料や話の中から概略把握出来るので、当方の要求が中小企業にとって妥当なものかほぼ見当がつきます。話がこじれて来たりすると、俺も日本人だと言う気持ちと、外資系企業の社員であると言う意識がないまぜになり、ひどい自己嫌悪に陥りました。

特に、円高の昨今では海外の購買者側は契約単価を何とか引き下げようとするし、中小企業側としては死活に関わる問題なので量的減少を値上げ食い止めようとしますから何時までたっても話が噛み合うはずがありません。クライアントを交えた交渉になると、まさに日米貿易交渉のミニ版です。購買側の言葉を直訳すると日本側が怒り出し、日本語を100%英訳すると購買側が怒り出し、話が決裂にでもなったら中間にいる私の首が涼しくなります。両者の主張を適当に意訳し、なるべく穏和な言葉でしゃべるから、時間ばかり掛かってストレスは溜まる一方で、ホテルで毎晩自棄酒を飲んでいました。それでも交渉が何とかまとまる、肩の荷が下りた解放感から疲れが一ぺんに出て2~3日休みをとらざるを得ませんでした。

③技術インターフェース

技術問題について、製品の細かな仕様やクレームが海外のクライアントの技術者から直接（本来、私共を通すべきなのに）メーカーの中小企業企業の技術者宛に送られて来ることがあります。

普段外国語に慣れていない人にとっては英文の手紙を書くのがつい億劫になり放置される結果、不信感ばかりが増大して後で大騒ぎになることがあります。メーカーの技術者から良く事情を聞いて、技術的背景を含め内容をE-「メイル」すると大方は冰解しました。このようなことが重ってゆくうちに中小企業の経営者にも信頼してもらえるようになり、仕事とは別に経営や技術について率直なアドバイスを求められるようになりました。私も別に金を貰うわけではないから勉強のつもりで、現場の人達と一緒にVA/VEや、工程改善等をやっていたのが後で技術士（経営工学）免許に繋がったのかも知れません。ある時、クライアントを交えた会議で日本の部品価格が高い一つの原因是金型コストではないかとの話になりましたが、化学屋の私には金型の知識は全く零でお手上です。それなら一つ徹底的に調べてみようと言う気になり、関係先の中小企業の紹介で金型屋を10軒程回り、後は図書館の雑誌や文献で、技術動向、産業構造や業界事情、世界の金型産業等について調査、「日本の金型」と言う表題でレポートしたら、以後金型に関する問題は大分少なくなりました。

以上、外資系企業の社員でありながら心情的には中小企業側に傾斜している自分自身に矛盾を感じながら、誠にもならずに定年後も67才で郷里の福岡に戻るまで常勤・非常勤の顧問で同様な仕事を続けてきました。公平な態度で関係企業に接してきたのが調達先にもクライアントにも良かったのかもしれません。

野見山 益生（福岡 機械）

1. 製品の安全性及び製造物責任について

ISO(国際標準化機構)によって品質保証に関する国際規格が制定され、製品流通の円滑化を目的として、全世界に普及し我国においても平成3年10月JIS Z9900～9904として規格化された。今後はISO 9000シリーズの世界的な普及と企業の製造物責任対策への取組みなどが相俟つて、体系的かつ計画的な証拠物書の作成を主張とした欧米型の品質保証活動へと質的転換が求められてくる。製品の安全性を高め製造物責任の問題を最小化するため製品またはサービスの品質のうち、安全性に関する側面を明確にすることが望ましい。従ってISO 9000シリーズは製品安全を推進するガイドラインとして有効であり、その遵守は製造物責任リスクの軽減に貢献するあらうが、製造物責任の全てを網羅しているわけではない。例えば、開発設計における製品の安全性レベルや警告、取扱説明書の表示等製造物責任対策の本質部分は、企業の自主的な努力に委ねられており、規格に盛り込まれていない。ISO 9000シリーズでは商取引のための品質能力評価を目的とした品質保証活動内容であるが、製造物責任対策は、応訴のための法的証拠提出を目的とした実施内容である。

2. PL法事故調査にあたって

OEM完成品メーカーが、ホテルに納入したコーナーネーションシステムの自家発電機が、ディーゼルエンジントラブルから煤塵の発生でホテル側壁を汚染した原因について調査を行なった。調査評価内容は次の通りである。

(1)現象：事故内容、現状確認、類似事故

(2)試行：事故原因の予想、テスト項目、テスト手法、原因の推定

(3)推行：立証の正確さ、再現性、残された問題点

一般的には上記(1)～(3)の手法で調査評価するが、今回の事故は設計時に問題があったのではないか、更にメンテナンスに不備がなかったか等に重点をおいて調査を行なった。自家発電の場合は通産局への届出が義務づけられ、また県の環境基準や大気汚染防止法から定数「k値」が定められ、設計上の不都合な事項はなかった。メンテナンスについてはOEMメーカーがメンテ契約をしており、基準に従い定期的にメンテを実施していたが、エンジン内部の噴射ノズルの部品が一部欠損してエンジントラブルが発生しており、メンテ不良が原因で事故に繋がったかどうかが議論の分かれどころでもあった。今回の「k値」で定められた煙突の高さは、当ホテルの中間部位では風向次第で汚染が起こる可能性が十分考えられ、設計時に設定した煙突の高さは黒煙による被害の発生を予見していなかったものと思考した。すなわち、設置位置と建物の関係を十分吟味し、PLP対策を講ずることが今後の重要な課題である。

調査は製造者等が自分で実施するのが基本であるが、必要に応じて外部に依託することもある。生産物賠償を付保しておれば、むしろ保険会社が主体となって調査することもある。要点の第一は製造物の「欠陥」の有無と内容である。すなわち、設計上の欠陥、製造上の欠陥、警告上の欠陥等である。第二は流通経路、第三は被害者による当該製造物の使用期間や使用方法等で異常な使用をしていないかどうか重要である。

3. 中小製造業者へのPL法対策要望事項

OEM完成品メーカーのPL対策として、

(1)部品メーカーとの求償特約をしておく。

(2)社内PL体制が十分であるか、事故調査報告書が内容的に不十分である場合は、社外の技術士関係者への委託方法を採用すること。

(3)トラブル発生時、他の消費者への営業面のマイナスを心配し、苦情処理の早期解決を希望しているが、事故の原因調査や因果関係を十分検討し、PLD、PLP活動により、良い製品を市場に提供することをモットーとすること。

◇ 果樹園のスプリンクラー防除技術

太田頼敏（鹿児島 農業部門）

1. 特色

散水かんがい施設の設計に際し、スプリンクラーに防除能力を加えることにより、施設の利用効率が飛躍的に向上し、その効果は絶大である。

2. 基本原理

各散水ラインの入口基部に定圧電磁弁を設置することにより、薬液散布終了後のタレ流しを防止し、予定時間内に的確な防除が可能となる。

施設全体をブロック毎にタイマーセットすることにより、全自動化が可能となる。なお、防除終了後順次各ブロック毎に送水押出し方式により、残液の完全利用とラインの洗浄が出来る。

3. 水源の条件

スプリンクラーの目詰りを防止する必要上、河川水利用の場合は水源ポンプに防塵器（例：ロータリースクリーン）が必要である。地下水利用の場合は最高である。

4. 地形条件

平坦の場合は水源ポンプに圧力タンクを設置するとよい。傾斜地の場合は配水槽方式とし、排水管は等高線に直交方式、散水ラインは平行方式となる。

5. 散水器の条件

散水器の噴射角度は低角度（水平より約10度）が良好で、樹上散水となるため支柱（例：L型鋼）が必要である。散水分布効率は無風時に8%ぐらいは確保したいので、一般的には散水直系の50%を設置間隔としたい。

中間式のものがよく、散水強度は10mm/時 以下とすること。

6. 散布両の目安

1ブロックの1回の散水時間は約10分程度である。そのため防除液量は500~800l /10aで、1回の散水量は0.5~0.8 mmとなる。

筆者は中四国地方各地でブドウ、梨、桃等の樹園地で実験した結果、散液開始後に葉面から地面にやや散液がしたたり落ちるくらいの強度で充分の効果があることが判明した。地元の評判も良好である。

7. 効果

従来の人力または機械力利用の農薬散布は、人体に相当悪影響があるのみならず、有風時に公害発生のもととなる。

散布ムラも改善され、予想以上の効果があった。特に、本法は無風時の早朝または夕方の短時間に実施可能である。

8. 多目的利用

(1)かんがい (2)防霧散水 (3)薬液及び肥料の散布 (4)火山灰の降灰とほこりの洗浄

会員ニュース

◇九州支部技術士会員、全日本建設技術協会の表彰を受ける

（社）全日本建設技術協会の創立50周年記念事業表彰に、日本技術士会九州支部会員の中から次の3名の方が、それぞれの功績や応募論文について表彰を受けられました。

特別功労賞 向井 治孝 氏 日本技術士会九州支部佐賀地区 元 代表幹事

特別会員支部設立功労者 青山 次則 氏 日本技術士会九州支部副支部長

論文第一席 原田 彰 氏 日本技術士会九州支部 佐賀地区センター会員

同協会は技術者の地位向上のため、政府系の土木技師の方々によって始められたものですが、現在では十万人を超える大組織で、多くの建設部門の技術士の方が関係しておられます。

◇上海・香港を旅して

政野 光男（福岡 建設）

「CEクラブ」が上海・香港旅行を計画しているが参加しないかと、古賀事務局長から誘いを受けたのは、平成8年度・技術士第一次試験の当日でした。

私は中国返還前の香港を見ておきたくて、2泊3日の香港旅行から10月6日帰国したばかりであったが、機会があれば上海にも行きたいと考えていたので、早速参加を申し込んだ。希望者は20名位と聞いていたけれども実際に参加したのは、広岡・川崎・完戸・笠木・山村さんと、私の6名で、小グループによる和気あいあいの旅行となった。

私達は11月19日に福岡空港を出発し、4泊5日の日程で上海・香港を訪ねた。上海では王仏寺・上海博物館・上海中医薬大学付属病院・豫園・外灘等を見学した。

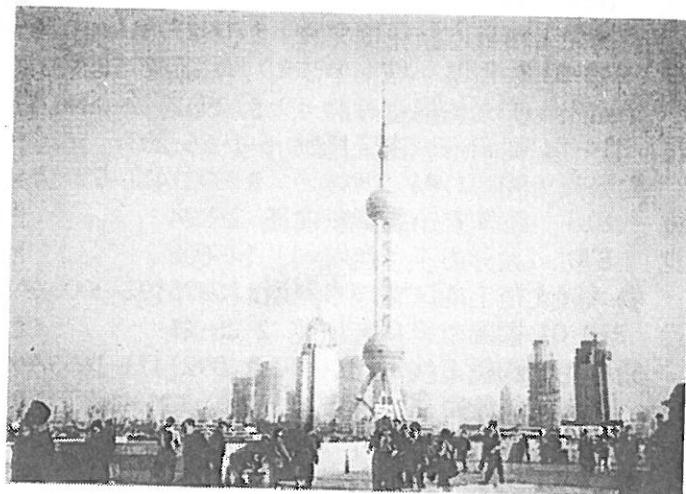
外灘は“上海バンド”とも呼ばれ、黄浦江に面した“上海の顔”とでも言うべき一角。かつて、英米の共同租界地で、当時のエキゾチックなビルが今も建ち並び、その面影を残していた。黄浦公園を散策しながら、対岸の「浦東新区総合開発事業」に就いて、ガイドの説明を聞き、蘇州河に架かる有名な“ガーデンブリッジ”(白渡橋)を自分の足で歩いて渡った時の感激は、“昭和ヒトケタ生まれ”的私にとって、青春時代の夢を実現できた喜びでもあった。

プラタナスの並木が茂る上海。活気に溢れた上海市民の自転車通勤の混雑ぶり。改革開放政策による計画経済から社会主義市場経済への移行。アジア最大の経済地区を目指す「浦東新区総合開発事業地区」に林立する貿易センターや銀行など、オフィスビル群の出現。私には、上海の経済発展が様々な影響を全世界に与えるのではないかと思えた。

香港は私にとって3度目の観光となった。アバディーンの“水上レストラン”での海鮮料理・ビクトリアピークからの夜景観賞・レパルスベイの観光・タイガーバームガーデンの見学・おみくじがよく当たると評判の黄大仙寺院参詣等、お決まりの観光案内に多少辟易したが、標高528mのビクトリアピークからの“100万ドルの夜景”は何回眺めても素晴らしいかった。世界的に有名なこの“100万ドルの夜景”が、7月1日以降も現在の姿で光り輝くのだろうか？イギリスの植民地から、中華人民共和国の「香港特別行政区」になれば、香港の政治・経済・社会のあらゆる面で様々な変化が現れるであらう。

鄧小平は「一国二制度を50年間維持する」と約束しているのだが、ガイドの話ぶりから、香港市民は「民主化」に程遠い中国に復帰することに不安を感じているようでもあった。然し、私達が現実にみた香港は、返還に伴う大型公共建設が相次ぎ、ホテル等の“増築ラッシュ”等で活気に満ち溢れていた。

中国は上海「浦東新区総合開発地区」を、香港と並ぶ“国際金融センター”に育てるため着実に整備していた。「21世紀はアジアの時代」と言われている。我が国が国際競争で指導的立場を確保するためには何を成すべきか、考えさせられる有意義な旅であった。



黄浦公園より「浦東新区総合開発地区」を望む

会員ニュース

☆(社)日本技術士会(九州支部)入会

(地区)(姓)	(氏名)	(部門)	連絡先:上段/勤務先:下段	<連絡先と勤務先が同じ場合、連絡先のみ記入>
福岡 正頸	原口 芳久	応用理学	862 熊本市檀町 5-16 勤務先:千代田工業株	☎(096)367-0474 ☎(096)381-3425
長崎 "	犬東 洋志	建設	850 長崎市玉園町 2-41	☎(0958)21-1539
福岡 鞍頸	田原 幸晴	電気電子	813 福岡市東区千早 2-5-24 勤務先:西日本技術開発株	☎(092)682-1292 ☎(092)781-2836
福岡 "	鬼木 一也	応用理学	818 筑紫野市塔原 420-18 勤務先:(株)九州地研九州地研	☎(092)922-8573 ☎(092)952-3628
大分 "	帆足 渉	建設	870 大分市城南北町県営 1H-108号 勤務先:西日本設計測量株計測量株	☎(0975)44-4303 ☎(0975)43-1818
北九州 正頸	戸木田康男	金属	803 北九州市小倉南区山手 3-14-8 (千葉より転入) 勤務先:戸木田技術士事務所	☎(093)961-4155 Fax/☎(093)961-4155

☆(社)日本技術士会(九州支部)退会

宮崎	伊藤 明	建設	平成8年9月3日 逝去
熊本	清崎 義春	建設	
福岡	藤内 誠一	建設・農業	

☆九州地方技術士センター入会

福岡 正頸	加藤 啓文	建設	810 福岡市中央区大濠 2-12-5 勤務先:西日本技術開発株	☎/Fax(092)761-0758 ☎(092)781-0259/Fx(092)724-6529
大分 "	梅津 邦夫	資源工学	879-24 津久見市大友町 6-13-2 勤:秩父小野田㈱津久見工場	☎(0972)82-2849 ☎(0972)82-4820/Fx(0972)82-2271
福岡 "	柳瀬 龍二	衛生工学	814-01 福岡市城南区別府 2-3-26 勤:福岡大学工学部化学工学科	☎(092)831-6497 ☎(092)863-8238/Fx(092)863-8248
鹿児島 "	野元 隆明	応用理学	863 串木野市下名 2106番地 勤務先:(有)ジオ	☎(0996)32-1928 ☎(099)252-7400
北九州 "	沼尻 健次	機械	807 北九州市八幡西区千代崎 1-10-5 勤:日鉄プラント設計株	☎(092)602-0921 ☎(093)872-5454/Fx(093)882-7655
福岡 "	當間 久夫	水道	810 福岡市中央区平尾 5-14-29-305 勤:新日本製鐵㈱福岡支店	☎(092)524-8746 ☎(092)471-2073/Fx(092)471-2015
長崎 "	本田 圭助	機械	850 長崎市西山本町 9-38 勤務先:(有)マツオ アンド パートナーズ	☎(0958)28-0738 Fx(0958)28-0711
福岡 "	中島 忍	建設	816 春日市春日 4-21 勤務先:西日本技術開発株	☎(092)584-3824 ☎(092)781-4616/Fx(092)724-9160
佐賀 "	宮副 一之	建設	849-03 佐賀県小城郡牛津町字柿樋瀬 582-33 勤務先:(株)九州構造設計	☎(0952)66-1597 ☎(0952)29-0898/Fx(0952)29-2503
福岡 "	千々岩敏彌	建設	814-01 福岡市城南区鳥飼 6-1-26-207 勤務先:(株)オリエンタルコンサルタント	☎(092)821-6136 ☎(092)411-6209/Fx(092)411-3086
福岡 "	西脇 弘	建設	818 筑紫野市筑紫駅前通 2-194	☎(092)926-7648
大分 "	梶原 文男	建設	870 大分市王子西町 11-14-608 勤:大分大在土地区整理事務所	☎(0975)33-8231 ☎(0975)92-3000/Fx(0975)92-3006
福岡 "	岩上 憲一	建設	814-01 福岡市早良区加茂 2-26-41 勤務先:(株)構造技術センター	☎(092)863-5644 ☎(092)471-1655/Fx(092)471-4099
福岡 "	真崎 洋三	建設	818 筑紫野市二日市 1112-1 JGM 404	☎(092)924-0879
佐賀 "	清水 洋二	建設	840 佐賀市与賀町 3-17 勤:(株)エスジー技術コンサルタント	☎(0952)25-0323 ☎(0952)31-7881/Fx(0952)31-6188

(地区)(区分)	(氏名)	(部門)	(連絡先:上段/勤務先:下段)	
福岡〃	篠原 覚二	建設	818 筑紫野市光ヶ丘 3-9-5 勤務先:西日本技術開発(株) (092)781-1239/Fx(092)781-3743	(092)926-3377
北九州〃	小柳 嗣雄	化学	807 北九州市八幡西区春日台 1-16-10 勤務先:触媒化成工業(株) (093)751-9792/Fx(093)751-7486	(093)612-0191
佐賀〃	三浦 哲彦	建設	840 佐賀市中の館町 12-4 勤務先:佐賀大学理工学部	(0952)24-5191
北九州〃	常松 修一	建設	803 北九州市小倉南区企救丘 6-17-3 勤務先:日本鉄塔工業(株) (093)751-5312/Fx(093)751-7877	(093)961-6909
福岡〃	岡部 札一	建設	818 筑紫野市大字筑紫 436-1 勤務先:西鉄不動産(株) (092)712-0321/Fx(092)712-0793	(092)926-3928
長崎〃	大槻 繁	機械	852 長崎市葉山 1-40-9 勤務先:日本ビソーエンジニアリング研究所 (0958)82-7155/Fx(0958)82-7249	(0958)57-0601
宮崎〃	鐘ヶ江 利常	林業	880 宮崎市神宮西町 2丁目 203 勤務先:宮崎県治山林道協会 (0985)25-1321/Fx(0985)26-8515	(0985)25-5938
北九州〃	園田 敏勝	電気電子	800-02 北九州市小倉南区中吉田 4-11-13 勤務先:九州工業大学 工学部電気工科 (093)884-3227/Fx(093)884-0879	(092)472-9468
長崎〃	斎藤 孝	建設	857 佐世保市須田尾町 370-22 勤務先:西部環境調査(株) (0956)39-1535/Fx(0956)39-1537	(0956)34-0381
北九州〃	平山 賢治	電気電子	800 北九州市門司区稻積 1-11-32-308 勤務先:九州電気システム(株) (093)381-6753/Fx(093)381-8613	(092)381-3391
福岡〃	山下 和博	農業	816 春日市弥生 3-85-1-406 勤務先:(株)日設コンサルタント (092)262-2377/Fx(092)262-2388	(092)592-2009
福岡〃	小笠 慶二	衛生工学	816 福岡市博多区板付 7-5-28-503 勤務先:(株)九電工 (092)852-3407/Fx(092)852-3408	(092)573-1615
鹿児島〃	蟹江 知彦	電気電子	895 川内市平佐町 4171-2 勤務先:川内職業能力開発短期大学校 (0996)22-2121/F(0996)22-3982	(0996)23-5643
福岡〃	服部誠二郎	建設	819-03 福岡市西区泉 1-22-23 勤務先:西日本技術開発(株) (092)781-2625/Fx(092)726-4880	(092)806-8807
福岡〃	高木 勇	建設	830 久留米市白山町 397-11 勤務先:(株)エスピー エンジニアリング (092)452-5860/Fx(092)452-5861	(0942)38-5244
福岡〃	多久 正太	建設	814 福岡市早良区城西 2-13-11-204 勤務先:前田建設工業(株) (092)483-3146/F(092)482-1376	(092)841-4662
福岡〃	松本 雄介	水道	811-21 福岡県糟屋郡須恵町須恵 377-21 勤務先:福岡市水道局 (092)483-3146/Fx(092)482-1376	(092)932-4489
福岡〃	森尾 有	建設	811 福岡県糟屋郡宇美町宇美 3557 勤務先:(株)千代田コンサルタント (092)271-5771/Fx(092)272-1549	(092)932-0979
大分〃	瀬口宏由紀	建設	871 中津市東浜 768-6 勤務先:松本技術コンサルタント(株) (0979)23-3636/Fx(0979)23-4139	(0978)23-5955
福岡〃	原田 正則	建設	818 筑紫野市美しが丘南 3-9-25 勤務先:東急建設(株) (092)782-6112/Fx(092)782-6102	(092)926-8817
鹿児島〃	鞆外山 泉	建設	895 鹿児島市松原町 8-3 川尻ビル 6F. 勤務先:日建総合技術(株) (099)220-7156/Fx(099)220-7166	(099)222-9827
大分〃	後藤 勇	建設	870 大分市大石町 5-3-1 勤務先:(株)日建総合技術 (0975)49-2054	(0975)49-2054
大分〃	松本 昌則	建設	871 中津市大字牛神 195-7 勤務先:(株)日建総合技術 (0979)24-0382	(0979)24-0382
長崎〃	簇島 秀利	衛生工学	851-21 長崎県西彼杵郡時津町浦郷 31-9 勤務先:西部ガス(株)長崎事業本部長崎工場 (0958)81-2364	(0958)82-2797

☆九州地方技術士センター退会
熊本 鞍頸 高山祐二郎 建設

☆会員連絡先（住所）および勤務先変更

(氏名)	(部門)	(変更)	(勤務先/連絡先)	
福岡 今西 肇	建設	勤務先：	(財)大阪土質試験所九州地盤研究所	
			☎(092)762-8650/Fx(092)726-3877	
福岡 甲斐 忠義	建設	連絡先：819-11	前原市南風台 5-7-5	☎(092)324-4360
福岡 山口 正徳	農業	連絡先：815	福岡市南区寺塚 1-3-7-305	☎(092)531-2710
北九州 安部 治郎	建設	連絡先：801	北九州市門司区鳴竹 2-1-19	☎(093)321-1808
		勤務先：	日本国有鉄道生産事業団九州支社	☎(093)332-0135
福岡 野添 秀明	建設	連絡先：816	大野城市つづじ丘 4-10-10	☎(092)595-7402
		勤務先	清水建設㈱天建寺橋作業所	☎(0942)96-3533
鹿児島 稲田 博	建設	勤務先	小牧建設㈱	☎(099)225-2611/Fx(099)225-0079

— 受付順、敬称略 — <会員ニュース終わり>

◇会誌“技術士”最近の主要目次

☆平成9年1月号

- ・卷頭言 年頭挨拶／日本技術士会
　　会長 宮崎 茂一
　　就任挨拶／科学技術庁長官
　　国務大臣 近岡理一郎
- ・電子機器の診断作業の合理化／高橋 隆一
- ・ヤムナ川浄化計画を通して／鈴木 薫
- ・高吸水性樹脂のJIS化について
　　／川島 和夫
- ・ニューバイオテクノロジーの纖維分野への応用
　　／矢田美恵子

☆2月号

- ・卷頭言 まちづくりへの思い／島村慎一郎
- ・提言 建設部門を足がかりに／芳賀 幸雄
- ・南の島の火力・風力。
　　太陽光発電を訪ねて／山崎 宏
- ・未来の経済特別区／栗林 行弘
- ・個室ふう大部屋式病室の提案／福谷 光雄

☆3月号

- ・卷頭言 研究開発立県岐阜を目指して
　　／梶原 拓
- ・技術士の歴史を学ぶ／青葉 堯
- ・台所生ごみの分別収集による
　　コンポストン化の提案／神保健二郎
- ・病原菌とO-157／平井 輝生

★投稿募集★

技術研究論文・技術士の主張・賛助会
員会社の紹介など、技術的なことは勿論
会員の受賞などのニュースもお願いしま
す。積極的な皆さんの投稿をお待ちして
おります。(20字×10行=200字詰め原稿用紙
2~3枚程度<用紙は事務局備付け>)を目
安に、支部事務局宛にご送付下さい。

編集後記

今年も数多くの新進気鋭の技術士や士補の
方が誕生されました。「技術士」の資格は試
験時点の本人の技術能力について政府が与え
るもので、将来もその能力が維持されている
かどうかは本人次第で、資格が保証するもの
ではありません。日進月歩の技術の世界に生き
る私達にとって「技術士」の名に恥じないよ
うに日頃の研鑽が必要です。微力ながらこの
冊子も皆さんのお役に立てるよう編集に心
掛けたいと思っていますので、どうか協力の
ほどをお願い致します。

発行：(社)日本技術士会・九州支部
九州地方技術士センター
〒810 福岡市中央区大名1丁目
12-61 新天ビル 402
☎ (092)771-9534
FAX(092)731-8274